

# 講演会「携帯情報端末で広がる図書館サービス」参考資料

著者	滋賀医科大学附属図書館
発行年	2013-09-19
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10422/3933">http://hdl.handle.net/10422/3933</a>

携帯情報端末の活用に関する情報提供のお願い(回答用紙)

	回答欄	摘要
1) 回答者に関する事項		
回答者のご所属		
回答者のお名前		
回答者の連絡先メールアドレス		
2) 機関に関する事項		
機関名		
規模(学部数)		A(8以上), B(5-7), C(2-4), D(単科), E(その他)
3) 図書館で貸出をしているPC等の台数		
貸出PC有無		選択
貸出PC台数		台
貸出タブレット有無		選択
貸出タブレット台数		台
4) 図書館でおこなっている電子コンテンツの利用促進方法(複数回答可) 設問に該当する場合 ○, 該当しない場合 × で回答		
電子コンテンツの有無		選択
ウェブサイトに専用ページを作成		選択
ウェブサイトに利用マニュアル掲載		選択
OPACに書誌を登録		選択
リンクリゾルバに登録		選択
図書館報等で広報		選択
その他(具体例をお書きください)		記述
5) 携帯情報端末の活用にあたっての課題(複数回答可) 設問に該当する場合 ○, 該当しない場合 × で回答		
電子コンテンツが高価		選択
適切なコンテンツがない/少ない		選択
著作権対応		選択
携帯情報端末が高価/導入に多額の経費が必要		選択
携帯情報端末を活用するためのノウハウが不足		選択
携帯情報端末の機能更新が早すぎる		選択
その他(具体例をお書きください)		記述
6) 携帯情報端末の活用アイデア, 参考となる事例等があればご教示ください(他大学の事例でも結構です。可能であれば参照すべきURL等をお示しください)。		
		記述

ご協力くださり, どうもありがとうございました。

	A(8学部以上)			B(5-7学部)			C(2-4学部)			D(単科)			計			
	有 ／ ○	無 ／ ×	無 回 答	有 ／ ○	無 ／ ×	無 回 答	有 ／ ○	無 ／ ×	無 回 答	有 ／ ○	無 ／ ×	無 回 答	有 ／ ○	無 ／ ×	無 回 答	摘 要
回答大学数	17	2		9	7		15	11		14	11		55	31		64%
3) 図書館で貸出をしているPC等の台数																
貸出PC有無	9	8		3	6		8	7		3	11		23	32		42%
貸出タブレット有無	6	11		1	8		5	10		1	13		13	42		24%
4) 図書館でおこなっている電子コンテンツの利用促進方法(複数回答可)	設問に該当する場合 ○, 該当しない場合 ×															
電子コンテンツの有無	17	0		8	1		15	0		12	2		52	3		95%
ウェブサイトに専用ページを作成	12	5		5	3	1	15	0		8	6		40	14	1	73%
ウェブサイトに利用マニュアル掲載	9	8		4	4	1	10	5		5	9		28	26	1	51%
OPACに書誌を登録	12	4	1	6	2	1	11	4		9	5		38	15	2	69%
リンクリゾルバに登録	11	6		5	4		6	9		5	8	1	27	27	1	49%
図書館報等で広報	12	4	1	5	3	1	8	7		4	9	1	29	23	3	53%
その他(具体例をお書きください)																
5) 携帯情報端末の活用にあたっての課題(複数回答可)	設問に該当する場合 ○, 該当しない場合 ×															
電子コンテンツが高価	9	7	1	5	3	1	10	4	1	10	3	1	34	17	4	62%
適切なコンテンツがない／少ない	14	3		5	3	1	9	5	1	9	5		37	16	2	67%
著作権対応	7	8	2	7	1	1	8	4	3	7	5	2	29	18	8	53%
携帯情報端末が高価／導入に多額の経費が必要	11	6		5	3	1	11	2	2	10	3	1	37	14	4	67%
携帯情報端末を活用するためのノウハウが不足	11	5	1	8	1		14	0	1	12	1	1	45	7	3	82%
携帯情報端末の機能更新が早すぎる	12	4	1	3	4	2	10	3	2	9	3	2	34	14	7	62%
その他(具体例をお書きください)																

	A(8学部以上)			B(5-7学部)			C(2-4学部)			D(単科)			計			
	最 小	最 大	平 均	最 小	最 大	平 均	最 小	最 大	平 均	最 小	最 大	平 均	最 小	最 大	平 均	摘 要
3) 図書館で貸出をしているPC等の台数																
貸出PC台数	1	30	11.2	10	60	27.3	1	75	17.5	4	64	24.7	1	75	17.3	
貸出タブレット台数	3	13	8.3	20	20	20.0	4	30	11.4	10	10	10.0	3	30	10.5	

## 「携帯情報端末の活用に関する情報提供のお願い」 記述部分

### 4) 図書館でおこなっている電子コンテンツの利用促進方法（具体例）

- ・講習会で電子資料利用の説明を行っている。
- ・講習会の開催
- ・講習会等で説明を実施
- ・利用者ガイダンス等での広報
- ・図書館ガイダンスでの説明、契約業者による利用者講習会
- ・本学は、共同利用機関に研究科を置く大学院大学として本部キャンパスには1研究科60名程度の教員・大学院生数となっているので、直接マンツーマンの利用指導を行っています。
- ・利用案内（紙）配布
- ・学生作成のポスター
- ・電子ブックのポータルページを作成した
- ・図書館ウェブサイト内「学術情報リポジトリ」ページより論文検索・閲覧可能
- ・平成24年度、自館でスマートフォン・タブレット端末用コンテンツを試作して公開しました。  
<http://www.lib.hit-u.ac.jp/ebooks/> をご参照ください。

- ・Twitterで広報を行った。
- ・小白川図書館公式Facebookを活用
- ・電子ブックは、現在OPACでは検索できないが、ディスカバリーサービスでは検索できる。  
（図書・雑誌・電子ジャーナル・電子ブック・主なデータベースを一括検索可）
- ・「OPACに書誌を登録」については、一部の書誌のみ登録を行なっています。
- ・スマートフォン用OPACあり。学外アクセス（SSL-VPN）用アプリを導入
- ・一部リモートアクセス可能

### 5) 携帯情報端末の活用にあたっての課題（記述）

#### 【個人情報・利用履歴】

- ・個人使用に設計された機器なので、複数の利用者が共用して利用するには向いていない。個人情報漏えいの恐れもあり、簡単には提供できないため。
- ・セキュリティ対応のために、利用者からの返却ごとに端末を初期化する手間があること
- ・図書館で携帯情報端末貸出を行う場合の端末管理方法（個人情報の消去など）について、情報がほしい。
- ・利用履歴の削除など管理に手間がかかる
- ・履歴のクリアが自動でできず個人情報が残ってしまう
- ・セキュリティ対応への懸念

#### 【メンテナンス】

- ・携帯情報端末のメンテナンスを頻繁に行う必要がある。
- ・管理面の煩雑さ
- ・セキュリティやアップデートなど、端末のメンテナンスに多大な負担が生じる。
- ・貸出PCを導入した場合、メンテナンスやセキュリティなどの機器管理に人手と時間がかかりそうである。
- ・館内で貸出の際、外部への無断持出や盗難へのセキュリティー管理が必要

#### 【サポート】

- ・運用していく上での人員の不足
- ・貸出方法
- ・携帯情報端末に特化したサービスを提供する余力がない
- ・利用者は自分自身のスマートフォンやタブレットで図書館のコンテンツにつないでいるが、図書

館は、利用者をサポートしきれていない。

#### 【コンテンツ】

- ・個人利用が前提となっているコンテンツが多く、現在は図書館では契約できないものが多い。(Newsweek、超字幕など)
- ・コンテンツを購入するには、請求書等の書類で支払う事が出来ない場合が多い
- ・携帯情報端末での使用を想定した国内の電子書籍の場合、図書館での仕様を前提とした販売モデルが未整備。学術タイトルの電子書籍化も本格的でない。
- ・大学院以上の研究者が必要とする学術文献等の情報量は多く、いわゆる携帯端末では購読がやりにくいのではないのでしょうか。
- ・全端末に対応しているかどうかの確認が難しい

#### 【その他】

- ・1.電子コンテンツのプラットフォームが各ベンダーにより異なること。
  - ・2.ダウンロードコンテンツの場合、携帯情報端末のストレージ不足。
  - ・3.電子コンテンツのアクセス制限数（無制限の場合は、価格）
  - ・4.館外利用への対応
- ・大学の教育方針を踏まえて、授業と連携する形での導入が理想だと考える。
- ・ノートパソコンを貸し出ししてるが、携帯情報端末の貸出や活用については今後検討していきたい。
- ・貸出用ノートパソコンは、館内のみの利用であり、学内 LAN につながっていれば、図書館 HP などすべて同様にみることができるので、特段問題はない。タブレットに関しては、現在導入する予定がありません。
- ・全体の予算における EJ や Ebook の費用の割合は増えており、資料やサービスの電子化については見直している途中ですが、携帯情報端末の活用については、まだ本格的に議論が行われていません。
- ・図書館で携帯情報端末を貸し出す話なのか、学生が所有する携帯情報端末へのサービスの話なのか、設問の意図が不明です。

#### 6) 携帯情報端末の活用アイデア、参考となる事例等があればご教示ください。

- ・LibGuides に iPad の利用案内等を掲載している。  
<http://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/ipad>
- ・iPad 貸出サービスについて、九州大学附属図書館にて「iPad 貸出サービスの導入をご検討している図書館様向けページ」が掲載されています。  
<http://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/content.php?pid=287398&sid=3025867>
- ・電子学術書利用実験プロジェクト（慶応義塾大学）  
<http://project.lib.keio.ac.jp/ebookp/>  
<http://current.ndl.go.jp/node/23064>
- ・当館の事例（活用の課題も含む）につきましては、『一橋大学研究開発室年報』第1号(2013)（※1）、「一橋大学附属図書館における電子機器貸出サービスの実施報告」（※2）と「一橋大学附属図書館におけるタブレットおよびスマートフォン向け図書館利用者用コンテンツの開発」（※3）をご参照ください。

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/25650> (※1)

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/25656> (※2)

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/25655> (※3)

・一橋大学附属図書館 ※図書館が作成した iPad 向け電子書籍一覧

<http://www.lib.hit-u.ac.jp/ebooks/>

・スマホをかざして本を探す。

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG31003\\_R30C13A7CR0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG31003_R30C13A7CR0000/)

・スマホをかざすとある情報が見られる AR (拡張現実) という技術を使った試み。

・ブックログの画面を表示している。

<http://booklog.jp/users/shinshu>

・iPad を利用案内に用いる。

・授業紹介の動画を携帯情報端末に入れて図書館で貸出を行い、学内ネットワークの利用方法を身に付けていない新入生などにも手軽にアクセスできるようにした。

・貸し出し用 iPad の 1 台をお試し iPad として専用スタンドに固定し、館内に展示。ヘッドフォンも接続し、利用者が自由に試せる環境を用意した。

・同志社大学・貸出ノート PC 貸出状況 = 同志社大学では、クリエイティブ・コモンズにて DoKoDeMo PC としてノート PC の貸出を実施しているようです。本学職員がもってきたチラシを見る限り、学生証に仕込まれた IC チップを鍵に、ロッカーに収納された PC を無人で借りられるものです。

・現在展示している貴重資料に加え、過去に展示を行っていた貴重資料等の画像(本文の一部を含む) 閲覧サービス